

沖縄平和賞

「沖縄平和賞」は、沖縄と地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰対象とします。沖縄平和賞を広く県民に知っていただくため、県内3会場にてワークショップの成果をパネルにして展示いたします。また、沖縄平和賞への子どもたちの素直な意見もご覧頂けるよう冊子にして展示いたしますので、この機会にどうぞご覧ください。

理 念

「沖縄平和賞」は、沖縄の持つ歴史的・文化的・地理的な特を活かす次の3つの理念に基づいています。

- 1、アジア太平洋地域における平和・非暴力実現の促進
- 2、人間の安全保障実現の促進
- 3、内発的多様性を基礎とした平和実現の促進

意 義

「沖縄平和賞」を創設・運営することには、次の3つの意義があります。

- 1、地域の主体としての沖縄による自律的平和推進・構築
- 2、地域の役にも立つ沖縄にとっての平和に対する投資
- 3、沖縄における平和意識の共有・昇華のための知的・実践的営み

これまでの沖縄平和賞受賞者

- 第1回（2002年） 中村哲を支援するベシャワール会
- 第2回（2004年） 特定非営利活動法人アムダ
- 第3回（2006年） 沖縄・ラオス国口唇口蓋裂患者支援センター
- 第4回（2008年） 特定非営利活動法人難民を助ける会
- 第5回（2010年） 特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会
- 第6回（2012年） 特定非営利活動法人シャブラニール＝市民による海外協力の会
- 第7回（2014年） 特定非営利活動法人ジャパンハート
- 第8回（2016年） （認定）特定非営利活動法人難民支援協会
- 第9回（2018年） 特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター



本年度受賞者紹介

日本国際ボランティアセンター（JVC）は、1980年にインドシナ難民の救援を機に発足し、現在、アジア、アフリカ、中東、そして日本の震災被災地で活動している国際協力NGOです。

急激な変化にさらされている農村で、環境保全型の農業を通して暮らしの改善に協力するほか、紛争の影響を受けて人々が暮らす地では、生活の再建などの人道支援や、武力に頼らない問題解決を学ぶワークショップなどの平和構築活動を行っています。また、シンポジウムの開催や書籍の発行などの情報発信や、現場の声を政府や社会に届ける提言活動にも力を入れています。



暮らしを支える「地域開発」
栄養価の高い食品栽培の普及や食品加工技術の研修などを通して生計改善の支援をしています。



現地の人とともに取り組む「平和構築」
身近なところから暴力の連鎖を断ち切り、地域の安定から平和実現を目指す学び合いをしています。



命を守る「人道支援」
住む土地を追われ厳しい状況にある避難民に、家庭菜園や給水など生活再建のサポートをしています。



社会を変える「提言活動」
現地の人たちの声をもとに、社会への発信や政府、国際機関への働きかけを行っています。



第9回沖縄平和賞授賞式

日時 平成30年10月23日（火）14時～17時
場所 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー



主催者挨拶 会長：玉城 デニー



受賞者挨拶 日本ボランティアセンター
代表理事 今井 高樹



平和へのメッセージ：大城 洋輔



受賞者記念講演



乾杯の音頭
りゅうせき 参与：稲嶺 恵一